

Vol.46

新 まるとみ 新聞

newspaper
'16Feb.

発行所
北九州市若松区本町 1-1-33
丸富産業（若松区役所前）
Tel.093-751-1081

すまいdeスマイル
28年2月号

住まいの

雑学



コンクリートとは？

コンクリートの知識

私たちのまわりにはビルやダム、橋、トンネルなどの堅固な建造物があふれており、コンクリートは現代のまちづくりになくてはならない建築材料です。

セメントに水と砂、砂利などを混ぜたのがコンクリートですが、セメント+水は「セメントペースト」、セメント+水+砂はモルタルと呼ばれます。

古代ローマの建築材料
コンクリートの歴史

基礎は天然石、外壁は人工石だった
ピラミッドの謎も解けたぞだね。

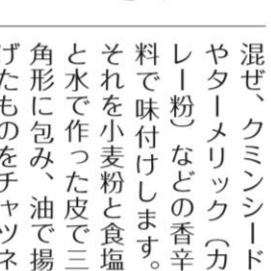
ラウイウス円形闘技場、カラカラ浴場、マクセンティウスの



バシリカ（公会堂）、トラヤヌスの市場、アウレリアヌス城壁などの巨大建造物もコンクリートを使って造られたからこそ、現代まで私たちに残すことができたといえます。

だという説も発表されています。いまだ解明されないピラミッド建造の謎の一部をこの新説が解いてくれるのかどうかは不明ですが、それはそれで新たなロマンを感じさせてくれる気がします。

すまいる家族



世界の朝ごはん

インドでは軽食として屋台などでもよく売られている、いわゆるインド風揚げ餃子。

具材は一般にゆでつぶしたじゃがいもに玉ねぎ、グリーンピース、レンズ豆、ひき肉などを炒めて

若松恵比須神社の「十日恵比須」

トコロ変われば 日本の家は寒すぎる スウェーデン

冬は気温がマイナス20℃にもなるスウェーデンですが、家の中は窓のそばでも廊下でも風呂場でもシャワー一枚、裸足でも平気で過ごせるくらいに快適です。さぞ暖房費がかさむだろうと思うかもしれませんが、設置されているのはほんのり暖かいという、家の作り方が日本とはまったくちがうからです。まず壁。厚さ30センチを超える外壁には極厚の断熱材がぎ

つちり。徹底的に断熱するから冬だけでなく、夏も弱い冷房で室内を十分に冷やすことができます。窓は二重窓どころか三重窓は当たり前。しかも複層ガラス。窓枠には二重のゴムパッキン。窓全体の厚みが20センチもあるのに、内側に結露が発生することはありません。そして暖房器具の配置の仕方。二重熱



が逃げる場所を暖めるのが常識で、窓や扉の近くに設置されていることがほとんどです。日本でこうした住まいを建てると建築費が6割増しになるそうですが、快適性と経済効果を長い目で見れば、この初期投資もムダではないような気がします。

住まいることわざ

◎朽木（きゆうぼく）は雕（えびら）るべからず
腐った木に彫刻をすることはできないということから、やる気のない怠け者にいくら教育しようとしてもムダであるとい

◎堂（どう）が歪（よこ）んで経（き）が読（よ）めぬ
ある僧侶が、お経を上手に読めないのは仏堂が歪んでいて座りにくいからと、おかしな言い訳をしたことから、自分の怠慢や失敗の原因を屁

